

知的・発達障害の
生活習慣病予防のメカニズム

国立障害者リハビリテーションセンター

西牧 謙吾

国立がん研究センターは25日、全国のがん診療連携拠点病院などで2020年に新たにがんと診断された人は、19年と比べて6万人減ったと発表した。1施設当たりの減少割合は4.6%だった。増加傾向にあるがん患者数が実際に減ったとは考えにくく、新型コロナの影響で、検診や受診を控える人が増えた影響とみられる。今後、がんの発見が遅れ、進行した状態で見つかる人が増えると懸念される。

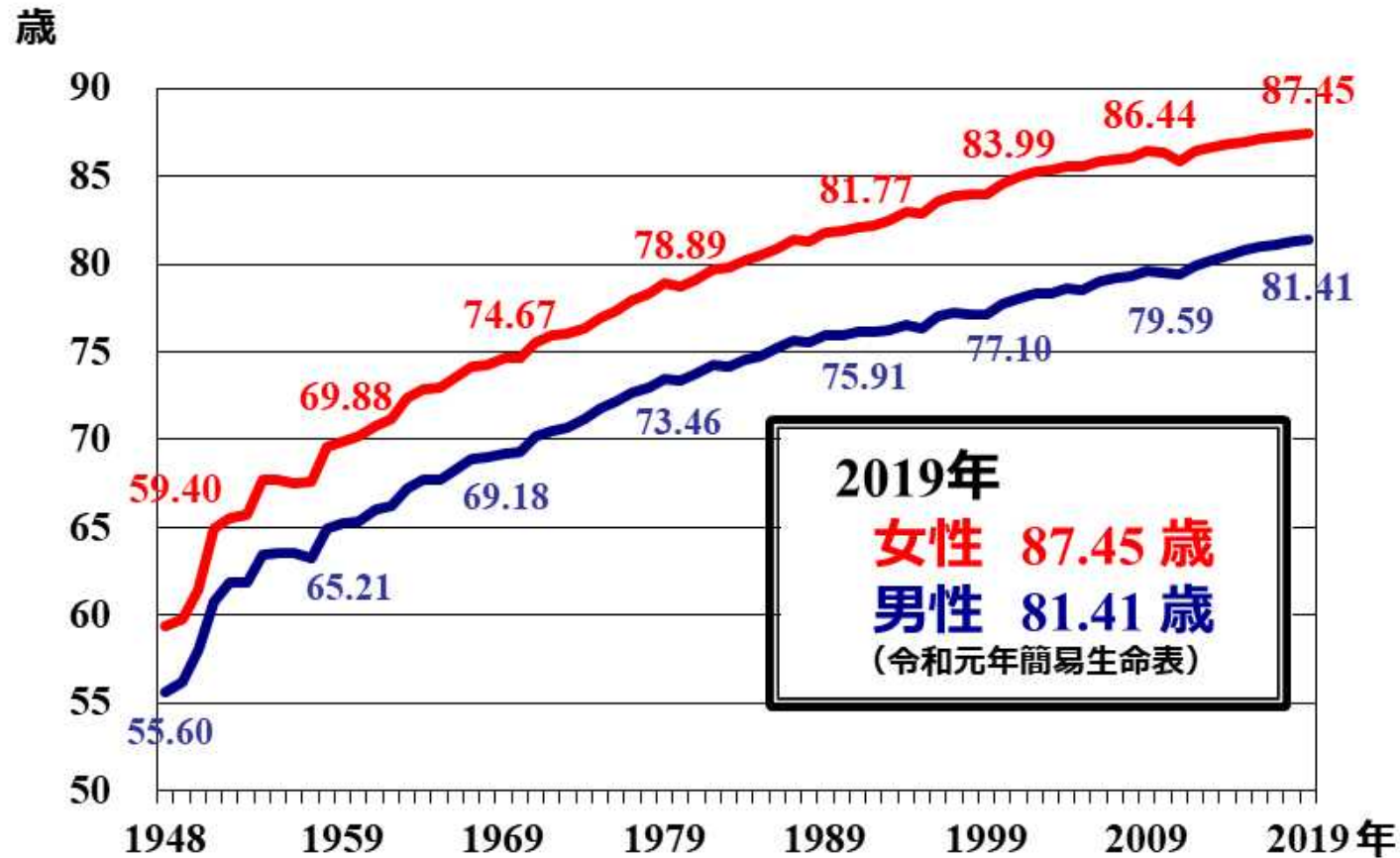
主ながんの診断数 (がん診療連携拠点病院)

		2019年	20年	減少割合
男 性 ▼	胃	5万3238人	4万7220人	11.3%
	大腸	6万4569	6万0188	6.8
	肝臓	1万7386	1万6826	3.2
	肺	6万1272	5万9239	3.3
	前立腺	6万3846	5万9938	6.1
女 性 ▲	胃	2万3237	2万0337	12.5
	大腸	4万4229	4万1786	5.5
	肝臓	6779	6437	5.0
	肺	3万0571	2万8994	5.2
	乳房	8万2445	7万8954	4.2

※国立がん研究センターによる

共同通信社
2021.11.26

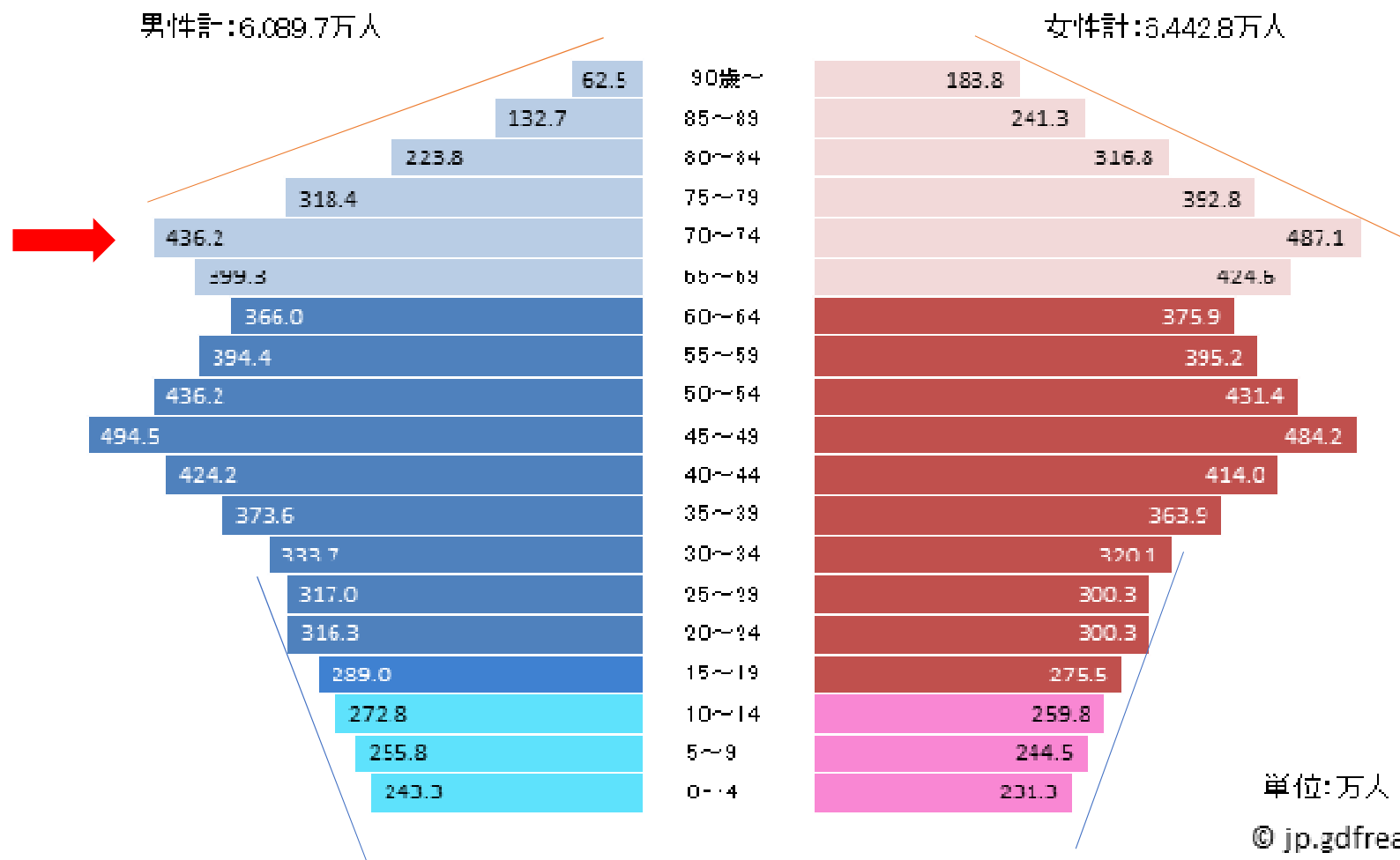
わが国の平均寿命の推移



(注) 1971年以前は、沖縄県を除く値

(出典：「令和元年簡易生命表の概況」厚生労働省より作図、加筆)

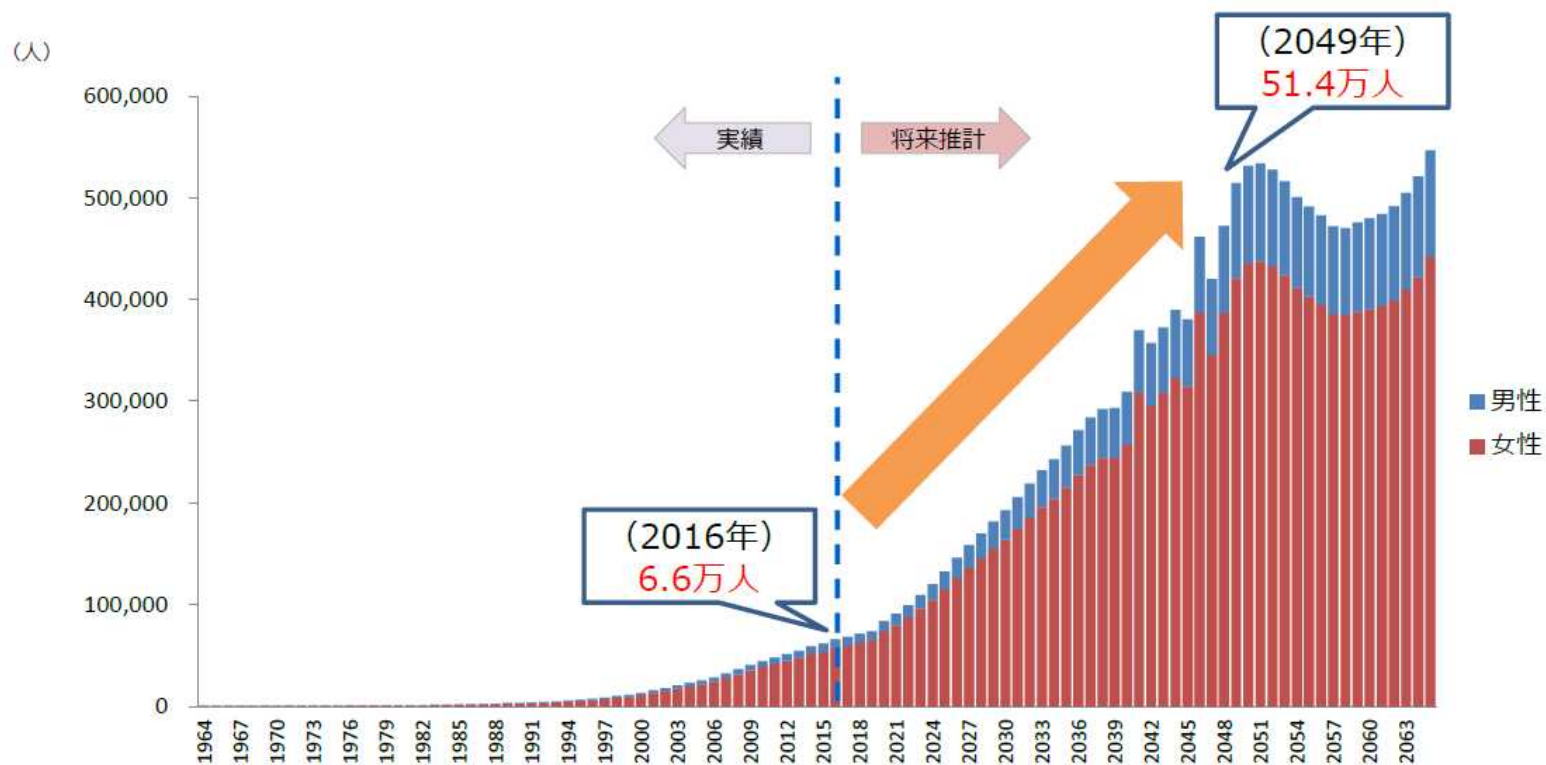
2020年日本の人口構成(予測)



「人生100年時代」の到来

- 2050年頃には、100歳以上の高齢者が50万人を超える見通し。

100歳以上高齢者の年次推移



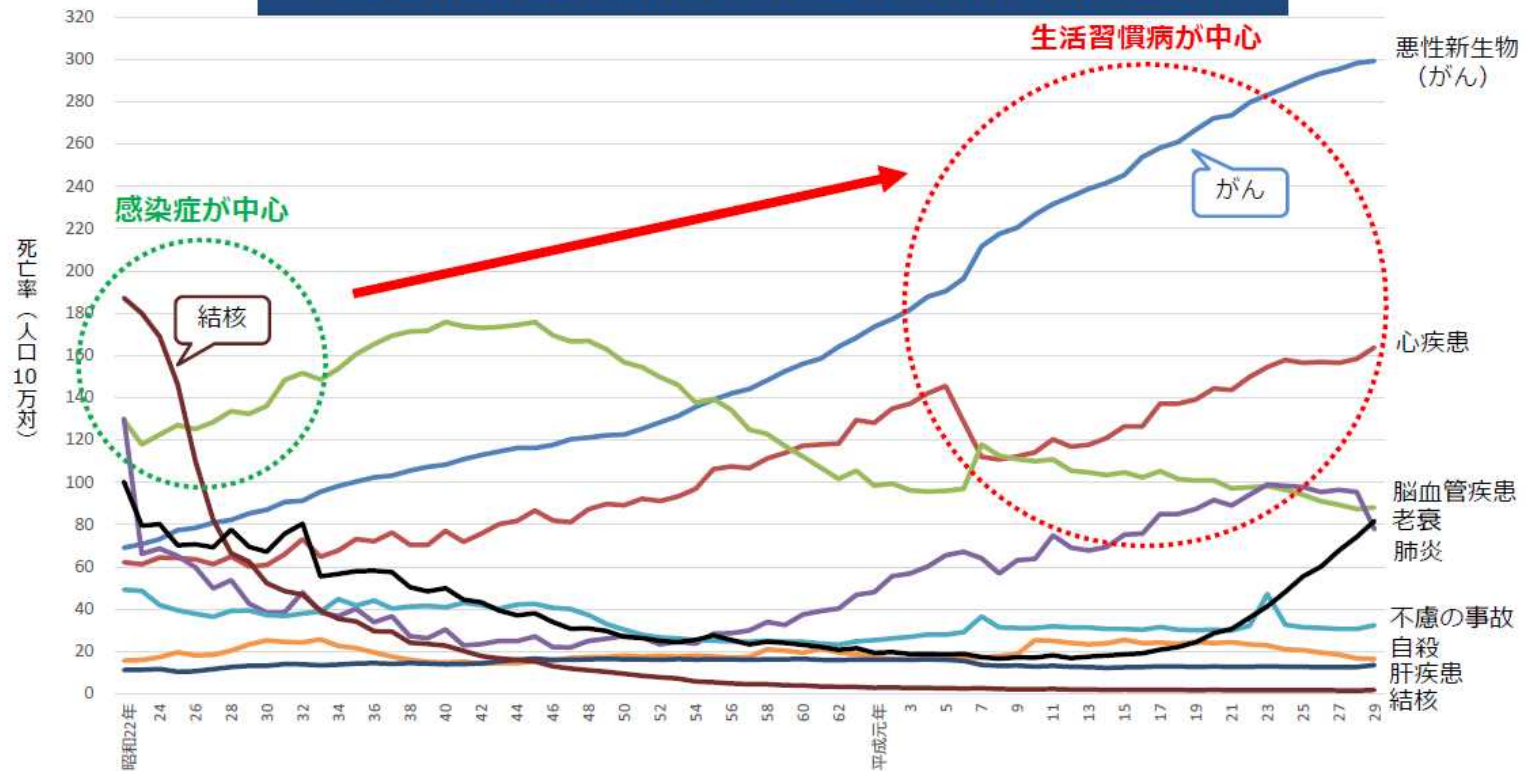
健康づくり対策の流れ



我が国における疾病構造の変化

- わが国の疾病構造は、かつての感染症から生活習慣病や老化に伴う疾患中心へと転換。

【主な死因別にみた死亡率（人口10万対）の年次推移】



※平成6年までの「心疾患（高血圧症を除く）」は、「心疾患」である。

（出所）厚生労働省「平成29年（2017）人口動態統計月報年計（概数）」より作成

疾病の発症要因

外部環境要因

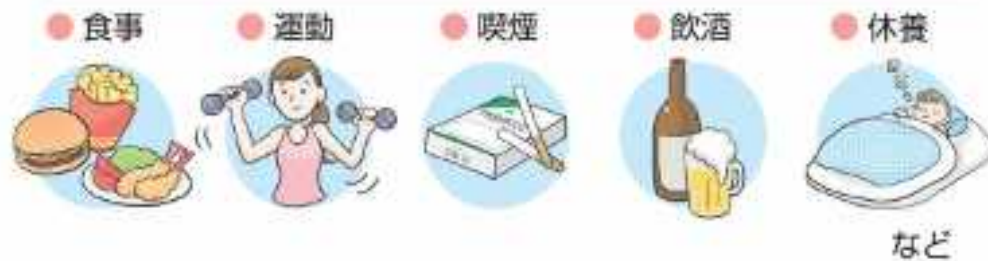
- 病原体
- 有害物質
- 事故
- ストレッサー など

遺伝要因

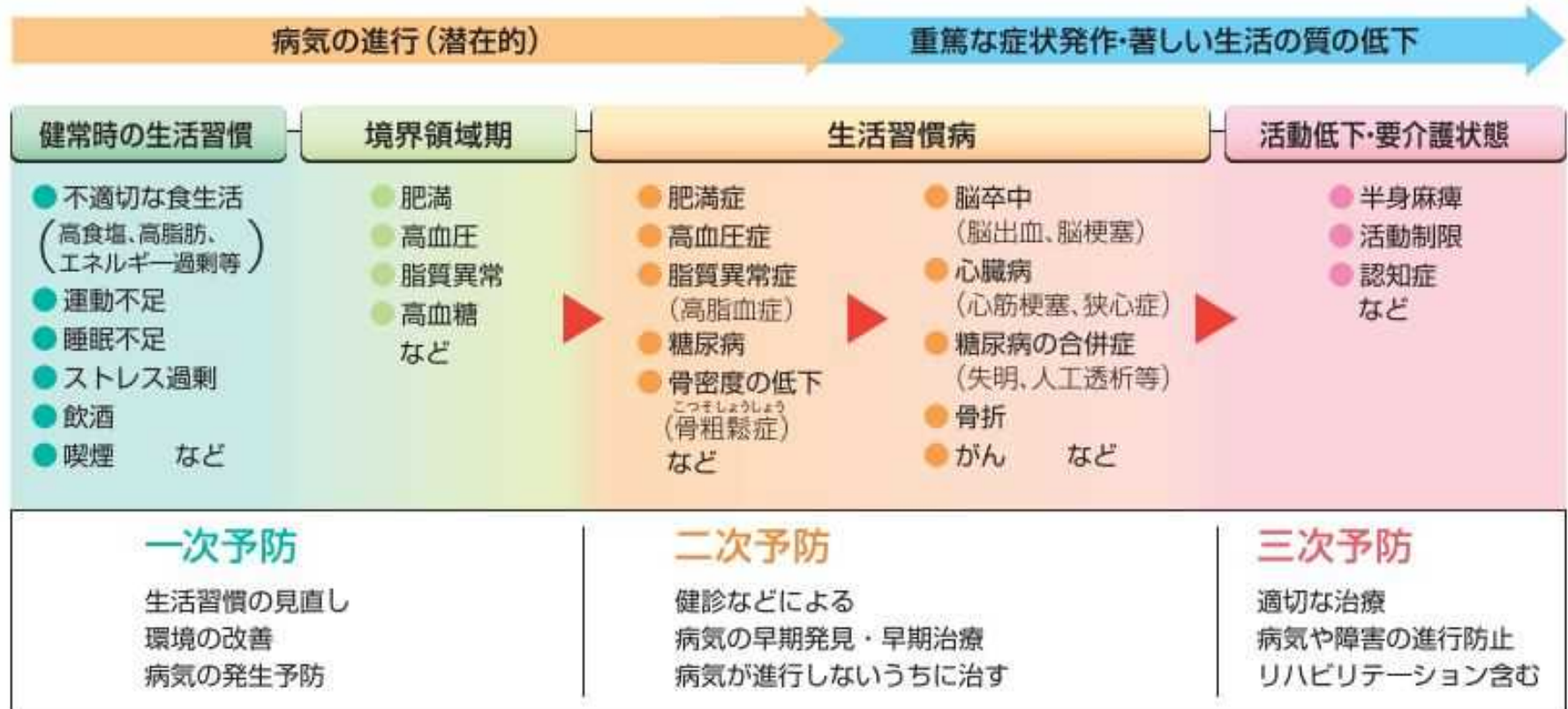
- 遺伝子異常
- 加齢 など

発症

生活習慣要因



生活習慣病の進行と一次予防・二次予防・三次予防の関係



0次予防について

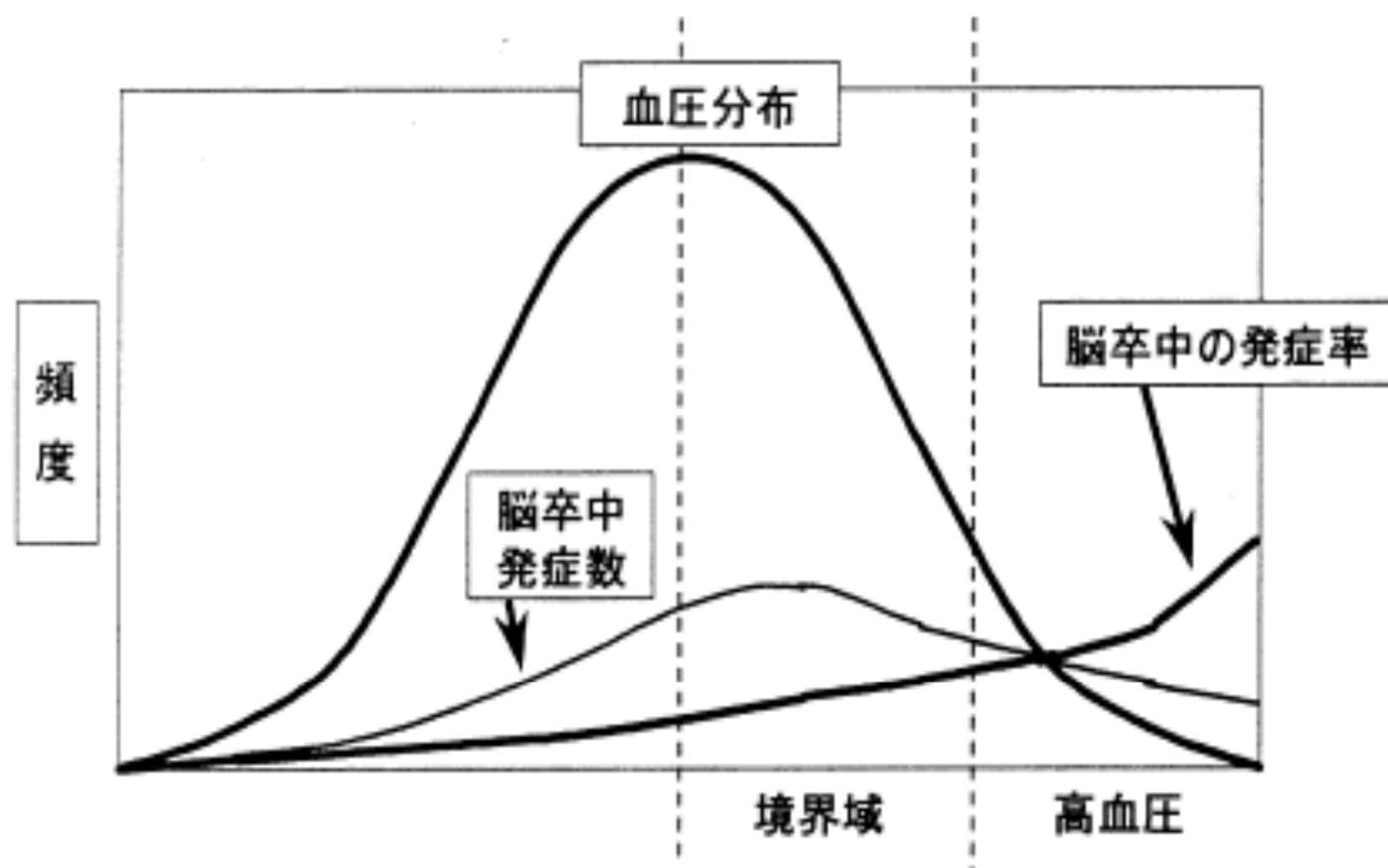


図3-2 危険因子と合併症の発症数

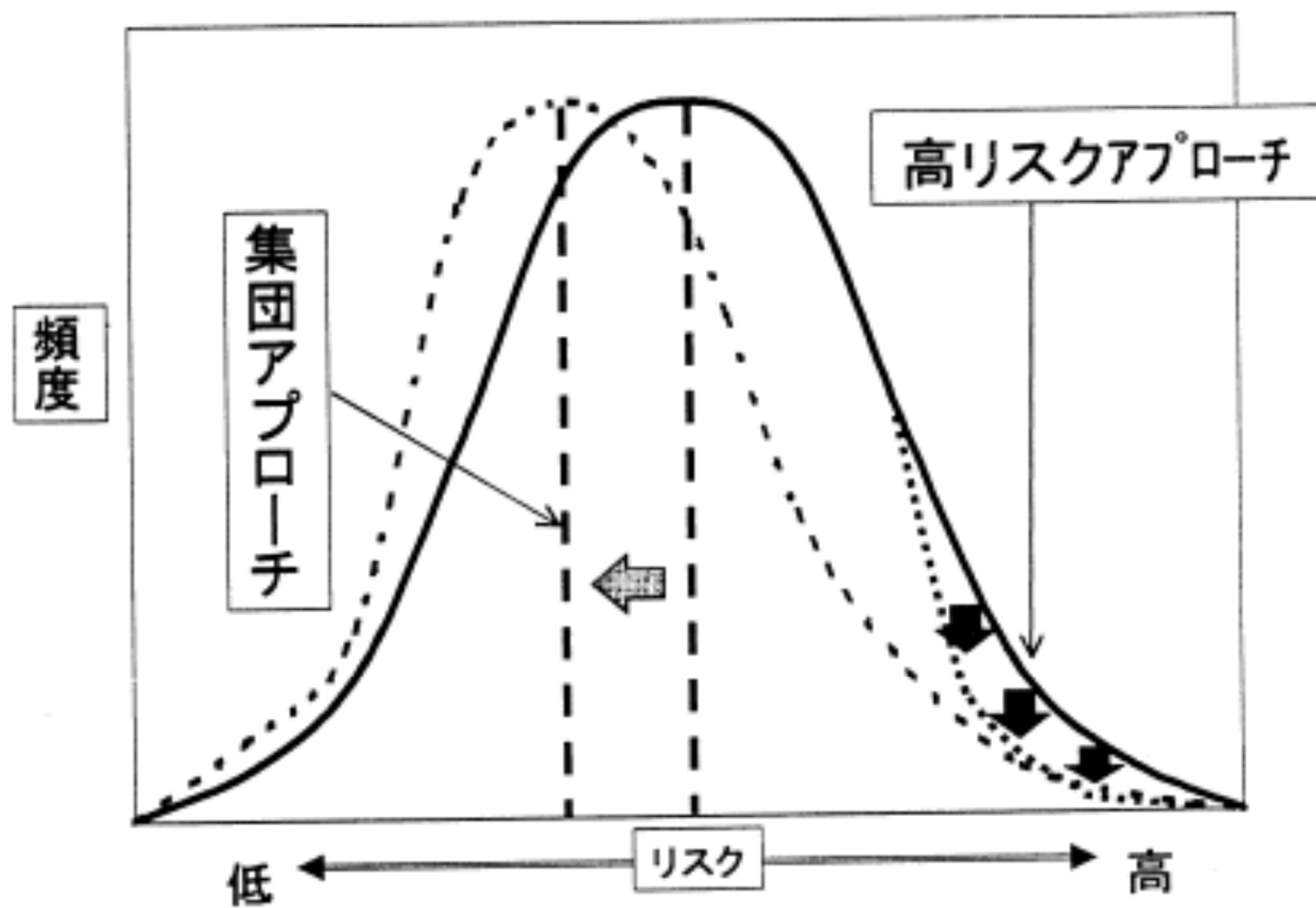


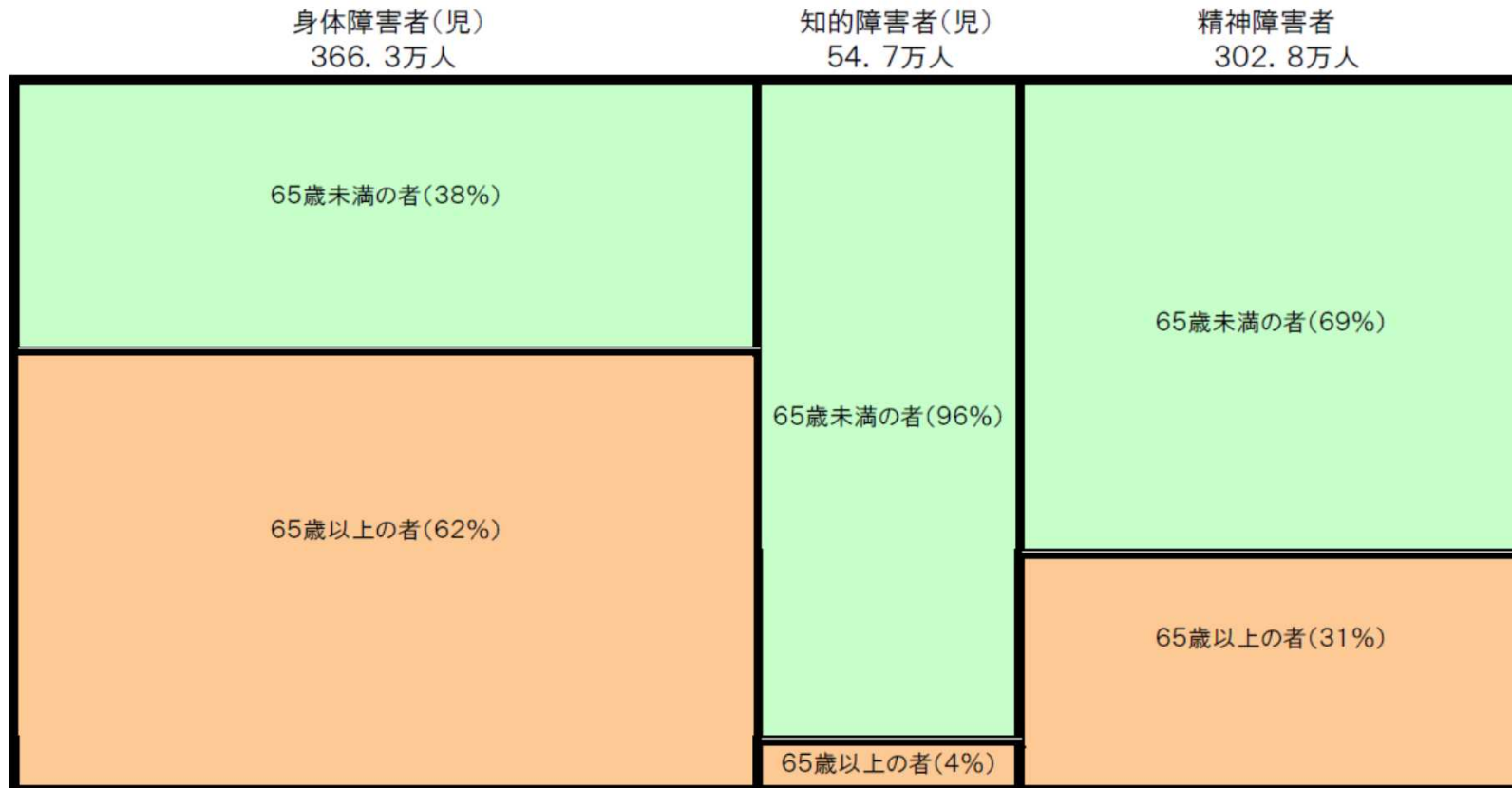
図3-1 高リスクアプローチと集団アプローチ

障害者の数（年齢別）

障害者総数 723.8万人(人口の約5.6%)

うち65歳未満 55%

うち65歳以上 45%



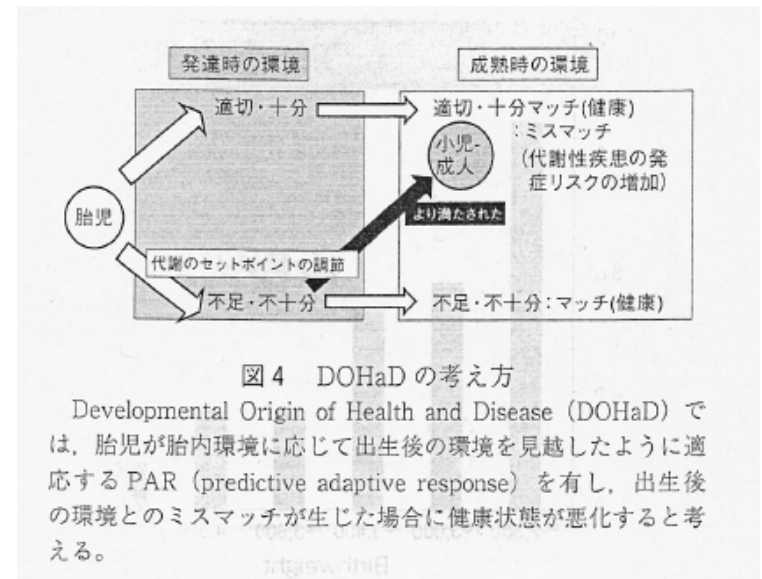
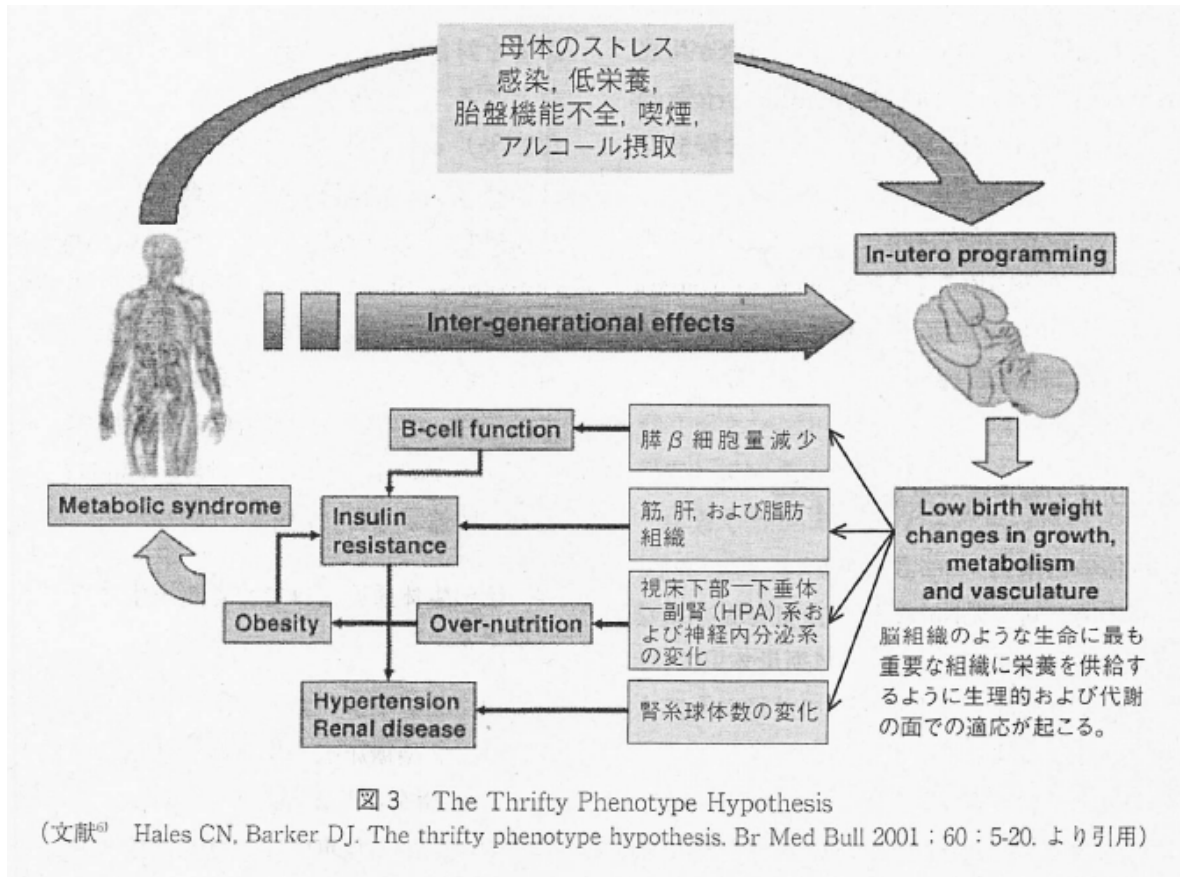
身体障害者(児)数は平成18年の調査等、知的障害者(児)数は平成17年の調査等、精神障害者数は平成17年の調査等による推計。
 なお、身体障害者(児)には高齢者施設に入所している身体障害者は含まれていない。

生活習慣病 胎児期発症起源説

成人病(生活習慣病)の素因は、胎芽期、胎児期、乳児期に形成され、出生後のマイナス生活習慣の負荷で成人病が発症する。疾病はこの二段階を経て発症する。主たる素因はエピジェネティックス偏移である。

- David Barker,1986. -

(胎児プログラミング説、儉約遺伝子説、 DOHaD説, FOAD説、代謝メモリー説 他)



低出生体重との関連が明確な疾患

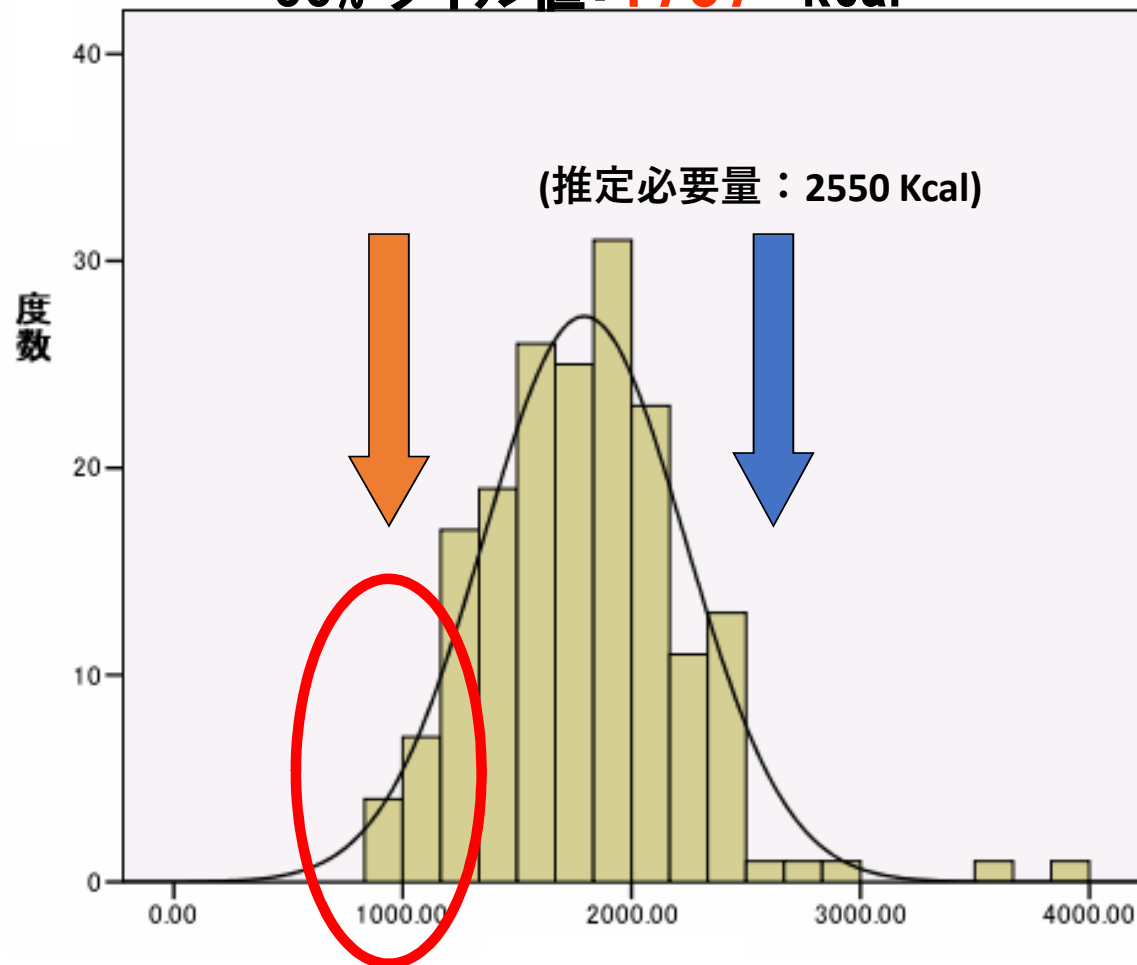
- 1) 虚血性心疾患
- 2) (II型)糖尿病
- 3) 高血圧
- 4) メタボリック症候群
- 5) 脳梗塞
- 6) 脂質異常症
- 7) 神経発達異常

de Boo HA and JE Harding. Austral New Zealand J Obstet Gynecol. 2006; 46: 4-14.

妊婦(妊娠32週)のエネルギー摂取量分布 (2006)

41/

50% タイル値: **1767** kcal



n = 181

一日摂取エネルギー (Kcal) (今野、松本、渡辺、永井 2007)

今後の知的・発達障害者の健康管理について

- より良い**社会生活**を送ることが1次予防につながる。
- 高齢者医療での経験を、障害者医療に応用する。
- 障害者が安心して利用できる検診システムを作る。
- がん検診、人間ドックなど、費用負担を含め課題が大きい。